

3 世代で楽しんだ 第 9 回コアフェスタ

今年も 11 月 4 日 (土)、5 日 (日) の日程で打瀬公民館でコアフェスタが開催されました。このイベントは今回で第 9 回目。毎年参加者が増え規模も大きくなってきていますが、「今のままではどこにもある『公民館まつり』の延長。もっとベイタウンらしいフェスタに」と主催するサークル連絡協議会は昨年のフェスタ終了後から考えていました。若い世代を集めるにはどうすればいいか。4 月から毎月のように実行委員会を開いて今回のフェスタを準備。果たして子どもから大人まで楽しめる楽しいコアフェスタは実現したでしょうか。【松村】



アトリウムに設けられたコーヒーコーナー前。小学生からシニアまで沢山の人が楽しんだコアフェスタ。幅広い世代に来てもらいたいという主催者の願いは届いたようだが。

11 月 4 日。コアフェスタ初日の朝 11:00 時、実行委員の A さんと館長は不安げに入口付近に立っていました。A さんの担当は小学生くらいの女の子にもコアフェスタに来てもらおうと今年から始めた新企画「ワンコインで女子力アップ」と「フェイスペイント」です。10:00 に始まったフェスタにはもう人がだんだんと集まって来ています。「小さな女の子の姿がアトリウムにあるととっても明るい雰囲気になるのに」と気を揉みながら待っていると、来ました。お母さんに連れられて少しはにかみながら「女子力アップ」のはじめてのお客様です。

これがきっかけになりました。隣で開店している「フェイスペイント」にもだんだん人が集まり、中にはフェイスペイントで顔に絵を描き、そのまま「女子力アップ」で編み込みの髪をという女の子もいます。それを楽しそうに見る若いお母さんたち



プロのスタイリストが女子力をアップ。このイベントはベイタウンの美容室 2 店が協力して実現しました。

あたりは一気に華やかに。並んで展示とワークショップを開いていた「アルバムの会」のブースにも人が集まります。

この日のコアフェスタは暖かい小春日和のなか、どの会場にも沢山の人が集まりました。ホールで行われていたシニア向けのサークルに子どもが「冷やかし」で参加したり、中庭に用意した喫茶スペースのテーブルも満席で、昨年と比べると会場の賑わいは明らかです。若い世代の参加が増えた

ことでこれまでの「公民館まつり」がベイタウンらしい「コアフェスタ」に変化するきっかけには十分な成果だったでしょう。とはいえベイタウンの人口は 2 万人超。まだまだ多くの人に愛されるベイタウン・コアを目指して、サークル連絡協議会は来年のコアフェスタの準備を始めています。



撮り溜めた写真を整理する「アルバムの会」のワークショップは子連れの若い親子で常時満席。



友達の作品が出版されているのだろうか。「かな書道」サークルの展示に見入るご婦人方。

「こどもさいくる リサイクル」

館内でそれぞれのブースに人が集まり、コーヒーコーナーが忙しくなっていた同じ頃、コアに隣接する芝生広場では「こどもさいくる リサイクル」が開かれていました。こちらは少し苦戦しています。担当した M さん (実は記者本人です) は当初、「1 日 50 台。2 日で 100 台は軽い」と豪語していましたが、フタを開けて見ると 2 日間で集まったのは 19 台。コアの施設の維持管理のためにチャリティーで 10 万円を目指しましたが、こちらは思い通りに行かなかったようです。

もっともこれで「失敗」とも言えません。このイベントのためにボランティアでお手伝いを申し出てくれたのは 20 人。高校生や若いママから 70 代の自転車好きのシニアまで、たくさんの方が子ども用自転車のリサイクルとチャリティーの考えに共鳴して (?) 参加してくれました。

終了後の全員の合い言葉は「来年もやろ

結果は成功？ 失敗？

う」。自転車の募集方法や整備時間の確保などを工夫し継続すれば必ず定着するという手応えをつかんだようです。実際、出品された自転車は整備して磨き上げると新品と間違えるほど輝き、子ども用自転車を入手しようと見に来た方は「毎年やってくれると計画が立てられる」という声が聞かれました。子ども用自転車の買い換えを考えている方。来年のコアフェスタの「こどもさいくるリサイクル」にご期待下さい。



子ども記者が伝える

今僕の学校では…

地域活動 美浜打瀬小学校 6年

No.18



美浜打瀬小編集

今回は美浜打瀬小学校の6年生が地域活動について書いてくれました。子どもたちは大人が思うよりも街の活動に強い関心を持っています。【ベイトウンニュース編集部】

僕は4年生のときにベイトウンについて学習をしました。そのときにベイトウンニュースの学習をしたのがきっかけで、ボランティアとして配達を手伝っています。

コアの集会場には、いつも多くの人がいて地域の方にあいさつをしたり、話をしたりするなどの交流の場になっています。

今年の夏休みはラジオ体操リーダーとして、鎌田さんなどの地域の方にラジオ体操のひとつひとつの動作を教えてくださいました。ラジオ体操を多くの人の手本となって行ったことでとても地域との交流を深められました。

このように、地域の行事に参加することで地域の方との交流が深められ地域のあたかさを感じることができたので、もっと交流をして、困ったときに助け合えるようなベイトウンにしていけたら良いと思います。【川崎遼斗】

ぼくがラジオ体操リーダーをするきっかけとなったのは3、4年生のころ、社会科や総合学習でラジオ体操やベイトウンニュースの歴史を学んだことです。ぼくはラジオ体操リーダーをやって、自分を一回りも二

回りも成長させることができたと思います。ラジオ体操をやって得たことはたくさんありますが、いろいろなことが最高の思い出です。ぼくは、このラジオ体操リーダーとなり、ぼく達を必死に指導して下さった方々にありがとうございます。本当にありがたい3日、2週間、1週間でした。他にも僕は2年前からベイトウンニュースの配達の仕事をさせて頂いています。今まで様々なことをしてきましたが、やってきたことはラジオ体操リーダーで終わりじゃないと思います。これからも様々な活動を続けていきたいです。【石澤直幸】

私は5年生のときは、全く地域の活動に関わっていませんでした。他の人に任せて、自分は「やらなくていいや」と参加しませんでした。そんなとき、夏休みのラジオ体操リーダーの募集がありました。自分を変える良いきっかけだと思い、立候補しました。

練習は厳しかったけど、毎朝来てくれるみんなの笑顔を見たら、楽しく活動することができました。また、大人の方も参加していて、「上手だね」とほめてくれました。

とてもうれしく、地域の人たちに支えられていると実感しました。

ラジオ体操リーダーになったことで、みんなの手本となりました。自分一人の力でも、町の約に立つことができました。

そして、自分を変えて地域に関わることは、人々と支え合いながら交流が深まり、この町の笑顔を増やす大切なことだと気付いたので、これからも自分から進んで活動に参加したいです。【柴本紗楓】

最高学年の6年生として学校や地域の行事に参加して、何でもやりたいと思いました。

ラジオ体操には毎年参加をしていたので、リーダーの人はみんなの手本となるように正確に体操していて、すごいと思っていました。だから、私もやってみたいと思い、立候補しました。

私は地域の活動に初めて参加しました。ラジオ体操リーダーは、6時に集合し、30分間、みんながきちんと体操できるようにリーダー同士で見合ったり、窓ガラスを鏡のようにして、自分の動きを見て確認したりしてひとつひとつの動きをたくさん練習しました。みんなの前で体操するときは緊張しましたが、私たちの細かい動きを見て、真似をしてくれたり、楽しそうに体操してくれたりする人を見て、うれしかったです。みんなのお手本となる動きをするのがむずかしくて改めて、ラジオ体操リーダーのすごさを実感しました。

今回の体験で地域の方と関わることの大切さと楽しさを学びました。この体験を生かしてこれからも生活していきたいです。

【山田 葵】

ベイフロント横の空き地に遊歩道 (ニュース深読み)

ベイトウン開発計画で最後に残った空き地、ベイフロントと海浜大通りに挟まれ用途が決まらずにぼっかりと空いた土地には何ができるのでしょうか。一時は大型スーパーの出店計画やスパリゾート(温泉施設)が取りざたされたこともありましたが、どれもみな噂に終わりました。そろそろ何かできるのではと気を揉む方も多いでしょう。

先日散歩していると、この空き地のフェンス前に「新しい道ができます」という看板が立っていました。工事期間は今年10月末～来年3月25日。施工主は「千葉県企業土地管理局」とあります。旧千葉県企業庁です。しかしどんな遊歩道ができるのか、詳細はありません。自治会連合会に工事の通知は来っていないか問い合わせしてみました。

連合会には工事の概要が描かれた図面が届いていました。内容を上から見た写真に加えると、図のようになります。

見て分かるように海浜大通り脇の歩道に接する部分の樹林を伐採し、そこに小さな遊歩道が整備されます。遊歩道には30cmほどの高さで生け垣とベンチが設けられる

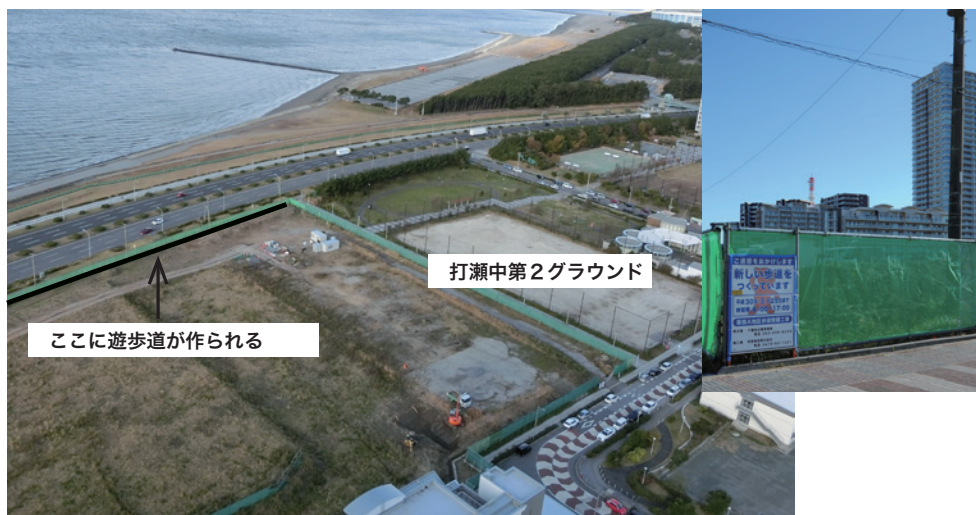
ようです。

殺風景な空き地に遊歩道ができるのですから素直に喜ばばいい話ですが、ニュースなどを書いていると、何故今頃こんな申し訳程度の遊歩道をと勘ぐりたくなりました。

自治会連合会に示された文書には「その他」として「工事完了後、遊歩道は千葉市

に引き継ぎを行います」とあります。なるほど。察するところ用途未定の空き地のままでは千葉市に管理を引き継げないので、整理を急ぐ旧企業庁としては早く遊歩道でも作って、施設として千葉市に引き継ぎたいと行う工事ではないでしょうか。そう考えると3月25日の年度内に工事を設定した理由もわからないでもありません。

天の邪鬼な邪推は止めて、素直に早朝の散歩の楽しみができたことを喜ぶことにしましょう。【松村】



高齢化で磯辺の後を追うベイタウン

千葉市では毎年5、6月に「千葉市高齢者実態調査」を民生委員の戸別訪問で行っています。委員の荻生さんがベイタウンのデータを独自に集計し、千葉市の住民基本台帳の情報とあわせて人口動態を分析していると聞きベイタウンの将来はどうなる予想なのか聞いてきました。【小原】

荻生：打瀬地区は2017年3月現在、総人口25,725人、平均年齢36.9歳。若い街というイメージのベイタウンですが、65歳以上は2,064人と総人口の8%なので、高齢化社会に属します。ちなみに7%以上なら高齢化社会、14%以上で高齢社会、21%以上で超高齢社会と呼ばれます。

小原：えー！もう高齢化社会だったとは。ニュータウンだからバランスが悪いですね。ベイタウンはこれからどうなっていくのかしら。

荻生：実は、他の地区と比較してわかったのですが、近隣の磯辺地区の平成7年（1995年）の年齢別人口のグラフと打瀬地区の平成29年（2017年）のグラフがほぼ同じ形なんです。磯辺地区は22年前に打瀬地区の現在の状態を通過したという点で大いに参考になると思いました。

磯辺地区は、一戸建て中心の新興住宅街。1980年からの開発後数年で一気に1万5千人以上の町になり、10年後に約2万人でピークを迎えています。65歳以上の人口が2009年（街開き後29年）で22.9%、つまり超高齢社会に入り、現在は36.7%で3人に1人が高齢者という状況です。そのためこの地区では住民が互いに助け合おうという動きが活発になりました。昨年から

カフェや見守りなどの自主活動が組織的にネットワーク化されています。個人個人が自立した生活を続けていくには共助が欠かせないということの現れです。

小原：磯辺に家を買った世代が高齢になり、子ども世代は独立して離れているため頼ることはできない、という家庭も多いと聞きました。介護保険では間に合わない生活サポートを有償で請け負うNPO団体があります。共助の一環と考えてもいいですね。

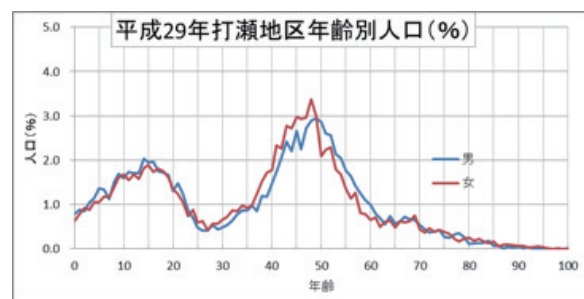
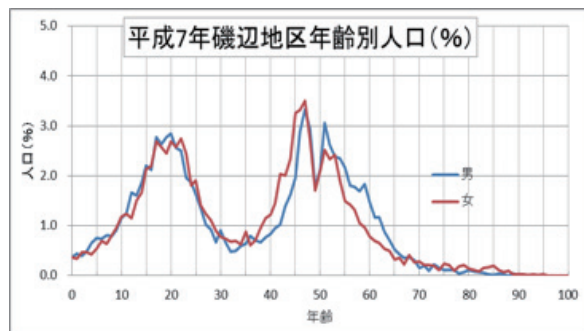
荻生：では打瀬地区を見てみましょう。最近認知症カフェが生まれました。そろそろ助け合いの芽が出始めたぐらいでしょうか。過去何回か民生委員の声かけでマンションごとの茶話会を開きました。そこから自主的な支え合いの動きとして発展することを期待していましたが、残念ながら根付いた例は少ないようです。

小原：単純な発想ですが、ベイタウンは（街開き29年後の）2024年には超高齢社会に突入で

す。10年を切って7年後とは予想以上の早さです…

荻生：一人暮らしや病気など困った時に気軽に行けるところや居場所、相談場所、ちょっと用事を頼める所、そんな場所ができるといいですね。これからの住民の意識の高まりが求められていると思います。

小原：磯辺地区の努力を参考にさせてもらい、ベイタウンらしい住民による助け合いの形を模索していく必要がありますね。



平成7年度の磯辺地区（上）と平成29年度の打瀬地区（下）の年齢別人口分布。グラフの形はほぼ同じで約20年で打瀬が磯辺の後を追う傾向がはっきりと読み取れる。

地域から見た EX 講座

11/16（木）と11/17（金）は打瀬中で恒例のEX講座が開かれました。EX講座は毎年地域の大人が中学生を相手にいろいろな講義を行う打瀬中独自の行事です。講座の種類は様々で、例えばベイタウンニュースでは毎年中学生にニュースの記事を書かせるなど、半ば職業的、専門的な内容のテーマの講座が中心でしたが、最近になってシニア世代が自分の経験や、日頃の研究成果（？）をEX講座で発表するような講座が増え、学校だけでなく地域の側にも変化が起きているようです。【松村】

3番街在住の村田さんは以前から自転車の交通ルールが守られていないことが気になっていました。ベイタウンから自転車事故をなくしたい、そう思って交通法規を調べ、正しい自転車の乗り方を学んだりしていましたが、3年ほど前に社会福祉協議会から中学のEX講座で「正しい自転車の乗り方」の講座を開くことをすすめられ、やってみることにしました。

人前で講座を開くなどは初めてのことで、まして70歳を過ぎて中学で授業を受け持つことになるとは思いませんでしたが、少しでも街の役に立てばと講座を始めたのが2年前。それから毎回すこずつ内容を充実させ、教え方も工夫して子ども達にも分かりやすい説明の仕方でも研究しました。

村田さんの自転車講座は今年で3回目、今では彼の活動をサポートしたいと講座の日には10人ほどの仲間が中学に出かけ、

グラウンドにコースを作って手作りで講座を展開しています。こうなると村田さんにとって年に1度のEX講座はちょっとした「ライフワーク」になってきています。

村田さんに限らず、EX講座がシニアに活気を与えている例は他にもあります。5番街の遠山さんはベイタウンの開発計画からの歴史をまとめ、シニア女性の「ひまわり会」は戦中戦後のひまじかった時代の記憶を中学生達に伝えようと、当時の「すいとん」を実際に調理して食べる活動をEX講座の初期の頃からつづけています。

EX講座は学校では「総合的な学習」に位置づけられて成果をはかれることが多いのですが、別の視点で地域の側から見ると、シニア世代にとっては自分が興味をもって研究してきたことを発表できる機会であったりします。そのために研究をすすめたり、発表の方法を工夫して次の講座の

準備をすることは、少し大げさにいえば「生き甲斐」を提供することにもなります。EX講座は地域の新しいツールになってきているようです。



村田さんの自転車講座。教室内で自転車に関する交通法規を解説し（写真上）、グラウンドで実際に自転車に乗って訓練も行う（写真下）。説明用のパネルを準備したり、コースの整備もすべて仲間のシニアのグループで行う。

今年もクリーンデーを開催します

小学校、中学校の児童生徒で作っている子供円卓会議と、ベイトウン地域運営委員会で協力して、まちの清掃活動として下記の通りクリーン活動を実施します。保護者の方はお子様連れで、その他お住いの方はご近所の方をお誘い合わせのうえ、多数ご参加くださいますようお願いいたします。

清掃範囲は主として学校通学路、公園周辺の歩道、小学校3校に分かれて実施。中学校は出身校の班別に入り活動します。

12月16日(土)10時、打瀬2丁目公園で開会式、12時目標の終了後2丁目公園で閉会式を行います。お時間のない方は時間に合わせて途中でお帰りになっても結構です。

主催：子ども円卓会議 地域運営委員会・クリーンデー実行委員会

第3回アトリウムコンサート

日時：12月9日(日) 14:00時

会場：ベイトウン・コア アトリウム特設ステージ

出演：ジュニアコーラス フェアリーズ、

Baytown VOICE

入場は無料です。

「ベルリンガーズ」によるハンドベルの演奏もあります



12月のコア・イベント

わくわくおはなし会 12月のおはなし会

日時：12月16日(土) 第3土曜日 午前10:30から

場所：ベイトウン・コア講習室

今月はクリスマススペシャルでわくわくするお話を用意してお待ちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

お問合せ先 chibawaku2@freeml.co

12月23日(土) 寺子屋工作ランド

よく鳴る「でんでんだいこ」

日時：12月23日 第4土曜日 午前9:30～11:30

場所：ベイトウン・コア工芸室

今月はよく鳴る「でんでんだいこ」をつくります。

持ってくるもの：よく切れるはさみ、セロテープ、

ビニールテープ(ある人) 保険費50円

参加費：50円(保険料)

ベイトウンニュース恒例 年男男女女撮影会

ベイトウンニュース年末の恒例行事、「新年 年男男女女撮影会」を行います。2018年の干支は「戌」(犬)です。12年に1度のベイトウンニュース新年号を飾るチャンスです。たくさんの方の参加をお待ちしています。

日時：2017年12月9日(土) 午前10:00～

場所：ベイトウン・コア アトリウムに集合

当日雨の場合はコアのアトリウム内で撮影します。

問い合わせ：ベイトウンニュース 松村 (TEL:211-6853)

第29回ウィンターコンサートのお知らせ

日時：12月17日(日) 11時開演

場所：ベイトウン・コア 音楽ホール

コアホールにさまざまな音楽が響きわたります。ピアノ、コーラス、吹奏楽、ベル演奏など。どうぞお誘い合わせて聴きにいらして下さい。

千葉ソロギターサークル第9回定期演奏会

出演：千葉ソロギターサークル(約25名)

建孝三(プロギタリスト)

日時：2017年12月24日(日) 開場10:45、開演11:00

会場：幕張ベイトウンコア・音楽ホール(定員約200名)

入場料：無料

曲目：アランフェス協奏曲、ある貴紳のための幻想曲、シャコンヌ、アルハンブラの思い出、禁じられた遊び、大聖堂、魔笛、その他。

主催：千葉ソロギターサークル(代表・上原淳)

お問合せ：080-3470-3663、chibasolo@gmail.com(千葉ソロギターサークル事務局・上原淳)



図書館からのお知らせ

1 冬の親子おはなし会

12月22日(金) 午前11:00～11:20 0～3歳児と保護者
ベイトウン・コア 和室

午後3:30～4:00 4歳児～小学生と保護者

会場：ベイトウン・コア 講習室

お子さんだけでも参加できます。

2 休館のお知らせ

年内は、12月28日(木)まで開館します。

年明けは、1月4日(木)午後1時から開館します。

詳細・お問い合わせ：打瀬分館 TEL:272-4646